

富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第309号

目 次

関係法令..... 2	国際交流事業基金による第2種及び第3種事業の採
学内規則..... 2	択について.....20
富山大学学則の一部改正..... 2	人事異動.....20
富山大学教育学部規則の一部改正..... 2	学内諸報.....21
諸会議..... 3	海外渡航者.....21
学 事..... 4	平成元年度文部省北陸地区共同事業体育大会.....22
平成2年度富山大学入学者選抜に関する要項..... 4	職員消息.....22
	主要行事.....22

関 係 法 令

告 示

- 大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ者の指定の一部を改正する件（文部98） 7・13

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成元年 7 月 21 日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年 3 月 12 日制定）の一部を次のように改正する。

別表第 4 中「6,800円」を「7,400円」に、「55,600円」を「61,800円」に、「18,500円」を「20,600円」に改める。

附 則

- 1 この学則は、平成元年 7 月 21 日から施行し、平成

元年 6 月 5 日から適用する。

- 2 平成元年度内の入学に係る研究生及び聴講生の入学料及び検定料の額は、従前のおりとする。

▶ 富山大学学則の改正理由

平成元年 6 月 5 日付け文高学第 204 号・文部事務次官通達に基づき、研究生及び聴講生に係る入学料及び検定料を改訂するため、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成元年 7 月 21 日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年 4 月 18 日制定）の一部を次のように改正する。

別表 I（第 2 条の表）の専門教育科目の部中

自由選択	22	22	16	24	21	17	21	24	24
特別研究	専攻教科につき		専攻科目につき		専攻教科につき		専攻教科につき		10

」を

自由選択	12	12	6	14	11	7	11	14	24
特別研究	10		10		10		10		10

」に

改める。

附 則

- この規則は、平成元年10月1日から施行する。
- この規則施行前の専門教育課程移行者については、
なお従前の例による。

▶ 富山大学教育学部規則の改正理由

特別研究の履修単位を定めたことに伴い、所要事項を改める。

諸 会 議

平成元年度第5回入学試験管理委員会・第5回入学者
選抜方法研究委員会の合同委員会（7月11日）

（審議事項）

- 平成2年度入学試験問題作成委員及び電子計算機処理委員について
- 平成2年度富山大学学生募集要項(案)について
- 平成2年度私費外国人留学生のための富山大学入学志願案内(案)について

平成元年度第2回国際交流委員会学術交流部会（7月14日）

（議 題）

- 平成元年度国際交流事業基金による第2種外国人研究者の招へい事業（B）の採択について

平成元年度第1回レクリエーション委員会（7月18日）

（議 題）

- 平成元年度職員厚生経費の使用計画について
- その他

平成元年度第1回廃液処理施設運営委員会（7月18日）

（議 題）

- 平成元年度運営費予算（案）について
- その他

平成元年度第2回国際交流委員会（7月21日）

（審議事項）

- 平成元年度富山大学国際交流事業基金による第2種及び第3種事業の採択について

平成元年度第7回評議会（7月21日）

（審議事項）

- 平成2年度富山大学工学部編入学試験合格者の判定について
- 富山大学学則の一部改正について
- 富山大学教育学部規則の一部改正について
- 富山大学教養部核燃料物質計量管理規則の制定について

平成元年度第3回トリチウム科学センター運営委員会（7月24日）

（審議事項）

- 昭和63年度運営費決算書（案）について
- 平成元年度運営費予算書（案）について

学 事

平成2年度富山大学入学者選抜に関する要項

1. 学部・学科等の内容及び入学定員

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	専 攻 ， 講 座 又 は 学 科 目	
人文学部	人 文 学 科	95	履 修 コ ー ス	哲学，日本史学，東洋史学，西洋史学，考古学， 人文地理学，文化人類学，言語学，文化講造論
	語 学 文 学 科	95		国語国文学，朝鮮語朝鮮文学，中国語中国文学， 英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学， ロシア語ロシア文学，比較文学
教育学部	小学校教員養成課程	100	専 攻 教 科	国語，社会，数学，理科，音楽，図画工作，体育， 家庭，教育学，教育心理学
	中学校教員養成課程	50		国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育， 家庭，技術，英語
	養護学校教員養成課程	20		特殊教育
	幼稚園教員養成課程	30		幼稚園教育
	情報教育課程	40	予 大	教育情報，環境情報
経済学部	昼コ 間 主ス	経 済 学 科	144	理論経済学，比較経済論，政策科学，応用経済学
		経 営 学 科	124	経営学，応用経営，管理科学
		経 営 法 学 科	102	基礎法，民事法，企業関係法
	夜コ 間 主ス	経 済 学 科	20	理論経済学，比較経済論，政策科学，応用経済学
		経 営 学 科	20	経営学，応用経営，管理科学
		経 営 法 学 科	20	基礎法，民事法，企業関係法
理学部	数 学 科	43	代数学及び幾何学，解析学，数理統計学， 応用解析学及び電子計算機論	
	物 理 学 科	47	固体物理学，量子物理学，結晶物理学，電波物理学， レーザー物理学	
	化 学 科	43	物理化学，構造化学，分析化学，有機化学，天然物化学	
	生 物 学 科	35	形態学，生理学，細胞生物学，環境生物学	
	地 球 科 学 科	32	地殻構造学，地殻進化学，陸水学，雪氷学	
工学部	工 業 化 学 科	50	有機工業化学，有機合成化学，無機工業化学， 応用物理化学，環境化学	
	金 属 工 学 科	43	金属材料学，金属加工学，鉄冶金学，非鉄冶金学	
	機 械 工 学 科	56	材料力学，機械力学，流体工学，熱工学，動力熱工学	
	生 産 機 械 工 学 科	45	切削加工，工業計測，塑性加工，制御機器	
	化 学 工 学 科	46	反応工学，拡散単位操作，機械的単位操作，輸送現象	
	電 子 情 報 工 学 科	132	電気システム工学，物性デバイス工学，計算機工学， 基礎情報工学，知識情報工学	
合 計		1,432		

2 入学者選抜方法等，大学入試センター試験の教科・科目等の利用方法及び本学の個別学力検査実施教科・科目等

別表 I・II・IIIのとおり

なお，推薦入学及び帰国子女・社会人の特別選抜方法については，別表IV・V・VIを参照のこと。

3. 学生募集要項（細目）の発表

募集人員，出願手続・期日，個別学力検査等の実施期日，試験場等の細目を記載した学生募集要項は，11月上旬頃に発表する予定である。

ただし，推薦入学及び帰国子女・社会人の特別選抜（大学入試センター試験を課さない選抜）学生募集要項は9月下旬頃に発表する予定である。

郵送で募集要項を請求する場合は，本要項の「6.募集要項の請求方法」（17ページ）を参照すること。

4. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点

教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	国語	実技検査	小論文	小計	合計	
学部(学科・課程)	人 文 学 部	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200	
		個別学力検査	200				200			400		
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200	
		個別学力検査	(200)		(200)		(200)	200		400		
	中学校教員養成課程 (国語，社会， 英語専攻)	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200	
		個別学力検査	(400)				(400)			400		
		大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800		1,200
		個別学力検査			(400)		(400)			400		
中学校教員養成課程 (音楽，美術， 保健体育専攻)	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200		
	個別学力検査						400		400			
中学校教員養成課程 (家庭専攻) 情報教育課程	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200		
	個別学力検査	(400)		(400)		(400)			400			
経済学部	経済学科，経営学科， 経営法学科 (昼間主コース)	大学入試センター試験	100	50	100	50	100			400	700	
		個別学力検査			(300)		(300)			300		
経済学部	経済学科，経営学科， 経営法学科 (夜間主コース)	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	800	
		個別学力検査								—		
理 学 部	数 学 科	大学入試センター試験	100		100	100	200			500	1,000	
		個別学力検査			500					500		
	物 理 学 科	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,400	
		個別学力検査			200	400				600		
		大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800		1,200
個別学力検査			200	200				400				
生 物 学 科	大学入試センター試験	200		200	100	200			700	1,500		
	個別学力検査				400			400	800			
地 球 学 科	大学入試センター試験	100		200	100	200			600	1,000		
	個別学力検査			(200)	200	(200)			400			
工 学 部	大学入試センター試験	100		100	100	100			400	800		
		個別学力検査			200	200			400			

(注) 1. ()内は選択教科を示す。

2. 理学部数学科の個別学力検査「数学」の配点は，「代数・幾何，基礎解析」200点と「代数・幾何，基礎解析，微分・積分，確率・統計」300点とで合計500点である。

5. 定員一部留保第2次募集の配点

学部・学科	大学入試センター試験					個別学力検査	合計
	国語	社会	数学	理科	外国語		
理学部物理学科	200点	100点	400点	200点	200点		1,100点

別 表 I

平成 2 年度 富山 大学 入学者 選抜 方法 等

選抜方法等 学部・学科名		個 別 学 力 検 査 等				推 薦							
		個別学 力検査 を課す る	実 技 検 査 等			2 段 階 選 抜		入学定員の一部分について、出身 学力検査を免除し調査書を主な					
			実技検 査を課 する	面 接 を行 う	小論文 を課す る	主として、調査書の内容と大学 入試センター試験の成績により 第1段階の選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等 を行う	第 1 段 階 の 選 抜 による合格者数	定員 対 する 倍 率	その他	個別学力検査を免除し、 大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学 入試センター試験を免除する	実 技 検 査 課 する	
人 文 学 部		○	×	×	×			×	×	×	×		
教 育 学 部	小学校教員養成課程		×	×	×	○	2段階選抜は、原則として行わない方針である。しかし、志願者が定員の8倍を超えた学部においては、大学入試センター試験の成績に基づき行うことがある。	×	×	×	×		
	養護学校教員養成課程	○	○	×	×			×	×	×	×	×	
	幼稚園教員養成課程												
	中学校教員養成課程 (国語、社会、数学、 理科、家庭、技術、 英語専攻)	○	×	×	×			×	×	×	×	×	
	情報教育課程							×	×	×	×		
	中学校教員養成課程 (音楽、美術、 保健体育専攻)	×	○	×	×			×	×	×	×		
経 済 学 部	経済学科、経営学科、 経営法学科 (昼間主コース)	○	×	×	×			×	×	○	×		
	経済学科、経営学科、 経営法学科 (夜間主コース)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		
理 学 部	数 学 科	○	×	×	×	○	2段階選抜は、原則として行わない方針である。しかし、志願者が定員の8倍を超えた学部においては、大学入試センター試験の成績に基づき行うことがある。	×	×	×	×		
	地 球 科 学 科									×	×	×	×
	物 理 学 科	○	×	×	×					×	×	×	×
	生 物 学 科	○	×	×	○			×	×	×	×		
工 学 部	工 業 化 学 科	○	×	×	×	○			×	×	○	×	
	金 属 工 学 科												
	機 械 工 学 科												
	生 産 機 械 工 学 科												
	化 学 工 学 科												
電 子 情 報 工 学 科													

- 備 考
1. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
 2. 理学部物理学科の定員一部留保第2次募集では、個別学力検査は行わず、大学入試センター試験、調査書及び健康診断を総合して判定する。
 3. 個別学力検査等の日程は、全学部とも連続方式B日程である。
 4. 欠員の補充の方法等は、11月上旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。

入 学			推薦入学 募集人員 (又は比率)	帰国子女, 社 会人等のた めの特別選 抜			定員一部留保第2次募集					個別学力検 査等の日程	備 考 〔欠員の補 充の 方法等〕
学校長の推薦に基づき, 資料として判定する				帰国 子女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人	個別学 力検 査を 課す る	実技検査等			第2次 募集人 員(又 は比率)		
技 検 査 等								実技検 査を課 する	面 接 を行 う	小論文 を課す る			
面 接 を行 う	小論文 を課す る	その他											
×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	3月4日(日)	(下記参照)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月4日(日) 3月5日(月)	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月4日(日)	
○	○	×	30名以内	○	×	×	×	×	×	×	×		
○	○	×	20名程度	×	×	○	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	12名		
×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×		
○	○	×	各学科 2名以内	×	×	×	×	×	×	×	×	3月4日(日)	
			6名以内										

平成2年度 入学者選抜における大学入試センター試験の教科・科目等の利用方法について

富山大学

入学志願者に解答させる教科・科目名等 利用する学部(学科, 課程, 専攻等)名	利用する選抜の対象	入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	その他
人文学部 人文学科 文学科			国(国Ⅰ, 国Ⅱ) 外(「英Ⅱ・英ⅡB」, 独, 朝, 中, 露から1)		
教育学部 小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程 中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語専攻) 中学校教員養成課程 (数学, 理科, 技術専攻) 中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育 専攻) 中学校教員養成課程 (家庭専攻) 情報教育課程	5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 地学, 化, 理Ⅰ, 生から1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕	国(国Ⅰ, 国Ⅱ), 数(代・幾, 基解), 外(英Ⅱ・英ⅡB)から1 実技(音, 美, 体から1) 国(国Ⅰ, 国Ⅱ)又は 外(英Ⅱ・英ⅡB) 数(代・幾, 基解)又は 外(英Ⅱ・英ⅡB) 志望専攻の実技 国(国Ⅰ, 国Ⅱ), 数(代・幾, 基解), 外(英Ⅱ・英ⅡB)から1	国(国Ⅰ, 国Ⅱ) 外(「英Ⅱ・英ⅡB」, 独, 朝, 中, 露から1)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は、本要項 2. 大学入試センター試験の「理科」については、(注4)	個別学力検査実施教科・科目等の出題範囲等の詳細は、別表
経済学部 「昼間主コース」 経済学 経営学 経営学 「夜間主コース」 経済学 経営学 経営学	一般選抜の全部について利用		数(代・幾, 基解)又は 外(「英Ⅱ・英ⅡB」, 独から1) 課さない		

理 学 部	数 学 科	4 教科 5 科目 国 数 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) 理 (物, 地学, 化, 生から1) 外 (英, 独, 仏から1)	数「代・幾, 基解, 微・積, 確・統 (統計は除く。)」 理 (物, 化, 生, 地から1) 小論文 数 (代・幾, 基解) 又は 外 (英Ⅱ・英ⅡB) 理 (物, 化, 生, 地から1)	Ⅲ (7, 8ページ) を参照すること。
	生 物 学 科			
	地 球 科 学 科			
	物 理 学 科			
	化 学 科			
	物 理 学 科			
工 学 部	機 械 工 学 科	5 教科 6 科目 国 社 (「倫, 日, 世, 地理, 現社から1」) (注1) 数 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) 理 (物, 地学, 化, 生から1) 外 (英, 独, 仏から1)	数 (代・幾, 基解) 理 (物) 数 (代・幾, 基解) 理 (化) 課さない	の 4, 5 (2ページ) を参照すること。 を参照すること。
	生 産 機 械 工 学 科			
	電 子 情 報 工 学 科			
	工 業 化 学 科			
	金 属 工 学 科			
	化 学 工 学 科			

- 注 1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業 (見込み) 者以外の者に限る。
 注 2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了 (見込み) 者に限る。
 注 3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業 (見込み) 者以外の者に限る。
 注 4. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。

別 表 Ⅲ

平成2年度富山大学入学者選抜学力検査実施教科・科目

学部(学科・課程)名		人文学部		教 育 学 部										経 済 学 部 (履間主コース)	
				小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程		中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語専攻)		中学校教員養成課程 (数学, 理科, 技術専攻)		中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)		中学校教員養成課程 (家庭専攻) 情報教育課程			
科目数等		出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数
国 語	国 語 I	◎	2	○	2	○	2		2		2	○	2		2
	国 語 II	◎		○		○						○		○	
数 学	代数・幾何			○	3 (3教科 (国語・数学・外国語) のうちから1教科を選択)		2 (2教科 (国語・外国語) のうちから1教科を選択)	○	2 (2教科 (数学・外国語) のうちから1教科を選択)		2 (2教科 (国語・数学・外国語) のうちから1教科を選択)	○	2 (2教科 (国語・数学・外国語) のうちから1教科を選択)	○	2 (2教科 (ドイツ語1科目) のうちから1教科を選択)
	基礎解析			○				○				○			
	代数・幾何														
	基礎解析														
	微分・積分														
理 科	確率・統計														
	物 理 学														
	化 学														
外 国 語	生 物 学														
	地 学														
	英 語 II	○		○		○		○		○		○			
	英 語 II B	○		○		○		○		○		○			
	ド イ ツ 語	○													
芸 保 体	朝 鮮 語	○	英語は2その他は1		1 (1教科を選択)		1 (1教科を選択)		1 (1教科を選択)		1 (1教科を選択)		1 (1教科を選択)		1 (1教科を選択)
	中 国 語	○													
	ロ シ ア 語	○													
芸 保 体	音 楽 実 技			○	1			◎	1 (志望専攻の1科目)						
	美 術 実 技			○				◎							
	体 育 実 技			○				◎							
小 論 文															
合 計		8	4又は3	9	3	4	2	4	2	1	1	6	2	5	2又は1

- 備 考 1. ◎は必ず受験しなければならない科目を, ○は選択科目を示す。
 2. 教育学部の実技検査の内容
 (1) 小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程
 音 楽 ① 楽器又は歌唱による自由曲演奏
 楽器は和楽器を除く, 管・弦・鍵盤楽器いずれも可
 歌唱は音楽I程度までの歌曲
 ② 音楽能力検査
 音楽Iの程度までの範囲
 美 術 表現力検査(平面及び立体)を行う。

理 学 部										工 学 部						摘 要			
数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		地 球 科 学 科		機 械 工 学 科 生 産 機 械 工 学 科 電 子 情 報 工 学 科		工 業 化 学 科		金 属 工 学 科 化 学 工 学 科					
出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数				
																同一試験時間内に解答させる。			
◎	2	◎	2	◎	2			○		◎	2	◎	2	◎	2		同一試験時間内に解答させる。		
◎	4								} 3 〔2教科(数学・外国語)のうちから1教科2科目を選択〕							同一試験時間内に解答させる。 「確率・統計」のうち統計は除く。			
◎																			
◎			◎	1	◎	1	○	○		○	○	◎	1	◎	1		○	○	同一試験時間内に解答させる。
◎							○	○		○	○								
								○											
6	6	3	3	3	3	5	2	8	3	3	3	3	3	4	3				

- 体 育 基礎運動能力について検査する。
- (2) 中学校教員養成課程の音楽，美術及び保健体育専攻
11月上旬頃発表予定の学生募集要項で発表する。
3. 第2志望の選択
教育学部志願者について
第1志望の受験科目（実技検査を除く。）が，他の課程又は専攻の指定する科目と同じである場合のみ第2志望を認める。
ただし，中学校教員養成課程及び情報教育課程を第1志望とする者は，小学校，養護学校及び幼稚園教員養成課程を第2志望とすることができない。

別 表 IV-1

特 別 選 抜 方 法 (推 薦 入 学)

富 山 大 学

実施学部・学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科	
	昼 間 主 コ ー ス	夜 間 主 コ ー ス
募 集 人 員	30名以内 (定員内)	20名程度 (定員内)
選 抜 期 日	平成元年12月3日 (日)	平成元年12月3日 (日)
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。</p> <p>なお、小論文作成のための資料には英文が含まれる。</p>	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。</p>
出 願 期 間	<p>平成元年11月11日 (土)</p> <p>)</p> <p>平成元年11月17日 (金)</p>	<p>平成元年11月11日 (土)</p> <p>)</p> <p>平成元年11月17日 (金)</p>
出 願 要 件	<p>高等学校の専門教育を主とする学科 (いわゆる職業科) を平成2年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>(1) 人物、学力において優れ、かつ、健康で勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(2) 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者</p>	<p>高等学校を平成2年3月卒業見込みの就職内定者で、人物、学力において優れ、かつ、健康で勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者</p>
そ の 他	<p>推薦人員</p> <p>(1) 職業科の1学年入学総定員が300名未満の高等学校は、2名以内とする。</p> <p>(2) 職業科の1学年入学総定員が300名以上の高等学校は、4名以内とする。</p>	

別 表 IV-2

特 別 選 抜 方 法 (推 薦 入 学)

富 山 大 学

実施学部・学科名	工学部……………工業化学科・金属工学科・機械工学科・生産機械工学科・ 化学工学科・電子情報工学科
募 集 人 員	工業化学科・金属工学科・機械工学科・ 生産機械工学科・化学工学科 }…各学科2名以内(定員内) 電子情報工学科……………6名以内(定員内)
選 抜 期 日	平成元年12月6日(水)
選 抜 方 法	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	平成元年11月11日(土)) 平成元年11月17日(金)
出 願 要 件	高等学校の工業に関する学科を平成2年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 高等学校における調査書の学習成績概評がA段階の者 (2) 人物、学力において優れ、かつ、健康で勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者
そ の 他	推薦人員は1高等学校につき、募集する学科ごとに1名までとする。

別 表 V-1

特別選抜方法(帰国子女特別選抜)

富 山 大 学

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名(定員内)
選 抜 期 日	平成元年12月6日(水)
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断により行う。</p> <p>なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行う。</p>
出 願 期 間	<p>平成元年11月11日(土)</p> <p style="text-align: center;">)</p> <p>平成元年11月17日(金)</p>
出 願 要 件	<p>日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。ただし、渡航理由が保護者の海外勤務等の事情による者に限る。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を昭和63年(1988年)4月1日から平成2年(1990年)3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者</p> <p>ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。</p> <p>なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和63年(1988年)及び平成元年(1989年)に授与された18歳以上の者</p>
そ の 他	

別 表 V-2

特別選抜方法（帰国子女特別選抜）

富 山 大 学

実施学部・学科名	経済学部「昼間主コース」……………経済学科・経営学科・経営法学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	平成元年12月3日（日）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	平成元年11月11日（土） ） 平成元年11月17日（金）
出 願 要 件	日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。ただし、渡航理由が保護者の海外勤務等の事情による者に限る。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を昭和63年（1988年）4月1日から平成2年（1990年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和63年（1988年）及び平成元年（1989年）に授与された18歳以上の者
そ の 他	

別 表 V-3

特別選抜方法（帰国子女特別選抜）

富山大学

実施学部・学科名	理 学 部……………数学科・物理学科・化学科・生物学科・地球科学科
募 集 人 員	各学科若干名（定員内）
選 抜 期 日	平成元年12月6日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断により行う。
出 願 期 間	平成元年11月11日（土） ） 平成元年11月17日（金）
出 願 要 件	日本の国籍を有し、外国の教育を受けている者で次のいずれかに該当し、平成2年3月31日現在満18歳以上の者 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を昭和63年4月1日から平成2年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和63年及び平成元年に授与された者
そ の 他	

別 表 VI-1

特別選抜方法（社会人特別選抜）

富 山 大 学

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	平成元年12月6日（水）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、書類審査、外国語、小論文、面接及び健康診断により行う。</p> <p>なお、外国語は「英語・ドイツ語・朝鮮語・中国語・ロシア語」の中から1科目選択すること。</p>
出 願 期 間	<p>平成元年11月11日（土）</p> <p style="text-align: center;">}</p> <p>平成元年11月17日（金）</p>
出 願 要 件	<p>平成2年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 大学入学資格検定試験合格者</p> <p>(4) 旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で、文部大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者</p> <p>ただし、定職をもち、定時制・通信制の高等学校に在学した期間は、社会人の経験期間に含める。</p>
そ の 他	

別 表 VI-2

特 別 選 抜 方 法 (社 会 人 特 別 選 抜)

富 山 大 学

実施学部・学科名	経済学部「夜間主コース」……………経済学科・経営学科・経営法学科
募 集 人 員	20名程度（定員内）
選 抜 期 日	平成元年12月3日（日）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	平成元年11月11日（土） ） 平成元年11月17日（金）
出 願 要 件	<p>大学入学資格を有し、かつ、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 勤労者については、高等学校を平成元年3月以前に卒業した者及びこれに準ずる者又は平成2年3月に高等学校の定時制又は通信制課程を卒業見込みの者で、人物、学力において優れ、かつ、健康で勉学意欲が旺盛であり、職場長の推薦する者</p> <p>(2) その他の社会人については、高等学校を卒業した者及びこれに準ずる者で、平成2年3月31日現在年齢満23歳に達している者で、人物、学力において優れ、かつ、健康で勉学意欲が旺盛であり、出身学校長等の推薦する者</p>
そ の 他	

別 表 VI - 3

特別選抜方法（社会人特別選抜）

富 山 大 学

実施学部・学科名	理 学 部……………生物学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	平成元年12月6日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は，大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，書類審査，小論文，面接及び健康診断により行う。
出 願 期 間	平成元年11月11日（土） ） 平成元年11月17日（金）
出 願 要 件	平成2年3月31日までに年齢満23歳に達し，社会人の経験を5年以上（注）有する者で，次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 (注) 定時制・通信制及び夜間部等の学校の在学期間は，社会人の経験期間に含める。
そ の 他	

国際交流事業基金による第2種及び第3種事業の採択について

このたび、平成元年度本学国際交流事業基金による第2種（後期分）及び第3種事業に次のとおり3件が採択されました。

なお、富山大学国際交流事業後援会は、昭和63年9月30日に解散しましたが、その後も引き続き、国際交流事業基金への寄附を庶務課庶務係において受け付けていますので、御寄附くださる方は、お申し出ください。

○第2種招へい事業（B）

受 入 れ 教 官			招 へ い 期 間	招 へ い 研 究 者		研 究 課 題
部 局	職	氏 名		氏 名	所属・職名	
人文学部	教 授	矢 沢 英 一	元.10.31～元.11. 4 (5日間)	キム レーホ Kim Rekho	ソビエト 科学アカデミー 世界文学研究所教授	ロシア文学と日本文学
教養部	教 授	気賀沢保規	元.10.29～元.11. 1 (4日間)	リンケンメイ 林 劍 鳴	中華人民共和国 西北大学歴史系 教授	中国古代政治文化史の研究

○第3種外国留学への奨学事業

氏 名	性別	所属学部・学科	指導教官	留 学 先	留 学 期 間
二 口 美 雪	女	人文学部語学文学科中国語 中国文学	三寶 政美	遼寧大学	元. 9.17～ 2. 5.
川 上 宏 美	女	教育学部中学校教員養成課程 英語専攻	加瀬正二郎	サウス シアトル コミュニティカレッジ	元. 9.25～ 2. 6. 8

 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	元. 8. 1	金 山 裕 子		助 手 (経済学部)	富山大学長
	〃	廣 瀬 貞 樹		助教授 (工学部)	〃
昇 任	〃	堀 田 朋 基	講 師 (教育学部)	助教授 (教育学部)	〃
転 任	〃	四ッ島 正 喜	文部技官 (富山医科薬科大 学業務部施設課機械係)	文部技官 (施設課)	〃

退職	元. 7. 23	本田 善彦	事務補佐員 (附属図書館)	平成元年7月22日限り退職した	富山大学長
	"	小田木 治太郎	"	"	"
併任	元. 8. 1	武 暢夫	教授 (経済学部)	評議員 (～平3. 7. 31)	文部大臣
	"	増田 信彦	"	"	"
公の名称 の消滅	元. 7. 31	大井 信一	学 長	附属図書館長事務代理を免ずる	富山大学長

学 内 諸 報

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	助教授	末原 達郎	ザイール共和国 ケニア共和国 ベルギー	アフリカ・イスラームにおける都市・農村関係の動態比較研究のため	元. 7. 15 } 元. 10. 7
	教育学部 附属中学校	教 諭	大澤 保	連合王国	平成元年度国立大学・学部附属学校英語担当教官海外研修	元. 7. 28 } 元. 9. 21
	理学部	教 授	安田 祐介	連合王国, オランダ, ドイツ連邦共和国 ドイツ民主共和国 ポーランド	第8回ゼオライト国際会議出席 天然ゼオライトの産地訪問及び研究打合せ	元. 7. 3 } 元. 7. 28
海外研修旅行	教育学部	"	永野 弘	アメリカ合衆国	低温工学, 国際低温材料会議に出席及び研究打合せ	元. 7. 17 } 元. 7. 28
	"	"	宇井 啓高	アメリカ合衆国	第28回万国地質学会に出席及び研究資料収集	元. 7. 8 } 元. 7. 31
	"	助 教授	丹羽 洋介	イタリア	壁画技法の研究	元. 7. 16 } 元. 8. 20
	" 附属中学校	教 諭	丹保 裕	アメリカ合衆国	米国における社会研修講座に参加	元. 7. 23 } 元. 8. 17
	教養部	教 授	神垣 知夫	ドイツ連邦共和国 連合王国	第12回高圧力国際会議及び研究会における研究発表・討論	元. 7. 12 } 元. 8. 11
	"	"	森 克徳	アメリカ合衆国	高温超伝導体と超伝導発現機構に関する国際会議で講演発表及び討論	元. 7. 21 } 元. 8. 4

平成元年度文部省北陸地区共同事業体育大会

この大会は、職員の健康の増進と相互の親睦を深めるため毎年行われているもので、今年度は福井医科大学が当番校として去る7月27日（木）に開催された。

競技種目はソフトボール（会場：福井医科大学野球場及びグラウンド）と硬式庭球（会場：福井医科大学テニスコート）で、12機関、320名が参加して行われた。

本学からは、ソフトボール2チーム、硬式庭球2チームが参加したが、健闘むなしく入賞は果せなかった。

なお、競技結果は次のとおりです。

ソフトボール

- 優 勝 福井医科大学A
二 位 福井工業高等専門学校
三 位 福井大学B
" 富山医科薬科大学A

硬式庭球

- 優 勝 福井医科大学A
二 位 金沢大学A
三 位 " D
" 富山医科薬科大学A

職 員 消 息

《新任者住所》

工学部

助 教 授 廣 瀬 貞 樹
（基礎情報工学）

《住所変更》

事務局

文部事務官 伏 喜 理 香
（情報処理係）

《改姓》

事務局

文部事務官 伏 喜 理 香 （旧姓 梶 谷）

主 要 行 事

本 部

- | | | | |
|------|---|--------|---|
| 7月2日 | 第41回北陸地区国立大学体育大会（サッカー外）（於：金沢大学場外グラウンド外） | 12～13日 | 選抜方法研究委員会の合同委員会
平成2年度概算要求説明（於：文部省） |
| 3～5日 | 人事関係事項説明聴取及び事務打合せ（於：文部省） | 12～14日 | 平成元年度厚生補導研究協議会（於：国立教育会館） |
| 7日 | X線直接撮影 | 13日 | 平成2年度国立学校施設整備費概算要求説明（於：文部省） |
| 7～9日 | 第41回北陸地区国立大学体育大会（野球外）（於：石川県兼六園コート外） | 18日 | レクリエーション委員会
庶務係長会議 |
| 11日 | 平成元年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会（於：大阪ロイヤルホテル） | 19日 | 平成元年度第1回廃液処理施設運営委員会
第2回留学生部会
留学生との懇談会 |
| | 第5回入学試験管理委員会・第5回入学者 | 21日 | 第7回評議会
国際交流委員会 |
| | | 24日 | 国際交流後援会理事会 |
| | | 27日 | 平成元年度文部省北陸地区共同事業体育大会 |

(当番校：福井医科大学)

31日 第1回黒田講堂管理運営検討委員会
構内交通対策委員会教授会
20日 附属中学校終業式
附属養護学校終業式
24日 学部予算委員会
人事教授会**人 文 学 部**7月3日 2年次学生コース別オリエンテーション
(第2日)
4日 大門高等学校PTA28名来学
事務連絡会
5日 2年次学生コース別オリエンテーション
(第3日)
学部しおり編集委員会
11日 授業終了
12日 学部入学者選抜方法検討委員会
学部しおり編集委員会
17日 予算委員会
学部教務委員会
18日 教官特別昇給委員会
20日 教授会
人事教授会
人文科学研究科委員会
次期学部補導委員会委員打合せ会
26日 係長会議
28日 学部しおり編集委員会**経 済 学 部**7月4日 学部等図書委員会(持ち回り)
5日 財務委員会
10日 助手室業務運営委員会
財務委員会(持ち回り)
夜間主コース運営委員会
11日 日本海経済研究所運営委員会
12日 学部教務委員会
学部補導委員会
人事教授会
教授会
17日 授業終了
18日 日本海経済研究所運営委員会
19日 コンピュータ管理運営委員会
学部等図書委員会
学部教務委員会
人事教授会
教授会
28日 学部教務委員会(持ち回り)**教 育 学 部**7月1日 学部カリキュラム委員会
3日 学部カリキュラム委員会
4日 学部カリキュラム委員会
5日 学部補導委員会
学部教務・カリキュラム合同委員会
7日 附属教育実践研究指導センター運営委員会
10日 学部予算委員会
12日 情報教育課程運営委員会
学部教務・カリキュラム合同委員会
人事教授会
13日 学部図書委員会
14日 附属小学校終業式
18日 附属幼稚園終業式
19日 学部教務・補導合同委員会**理 学 部**7月4日 事務連絡会
5日 動物実験委員会
12日 学科主任会議
授業終了
13日 学部入試改善委員会
17日 学部教務委員会
19日 教授会
人事教授会
次期学部補導委員会委員打合せ会
26日 係長会議

工 学 部

- 7月5日 工学部編入学試験
 7日 学科主任会議, 学部教務委員会
 10日 学部入学試験検討委員会
 11日 学科主任会議・学部改革検討委員会合同会議
 12日 教授会, 工学研究科委員会
 14日 富山行政監察事務所行政監察実施説明
 19日 工学部温交会役員会, 学部紀要委員会
 20日 北陸信越工業教育協会富山県支部総会及び講演会
 21日 富山行政監察事務所行政監察実施説明
 24日 全技官連絡会
 26日 工学研究科委員会, 専任教授会, 工学部温交会レクリエーション
 27日 事故対策委員会
 28日 選考委員会

トリチウム科学センター

- 7月24日 平成元年度第3回トリチウム科学センター運営委員会

地域共同研究センター

- 7月12日 先端技術者養成研修
 「超電導コース」(7月21日まで)
 13日 大学院生教育講座
 「ヘテロエピタキシャル技術のSiデバイスの応用」

保健管理センター

- 7月5日 耳鼻科健康相談
 7日 X線直接撮影

教 養 部

- 7月4日 LL教室運営委員会
 5日 特昇その他給与に関する委員会
 7日 予算委員会
 11日 教務委員会
 夜間主コース夏季休業(～8月31日まで)
 12日 教授会
 13日 視聴覚教育委員会
 14日 夏季休業(～8月31日まで)
 18日 予算委員会
 20日 将来計画委員会

附 属 図 書 館

- 7月3日 平成元年度目録システム講習会(地域講習会)(於:金沢大学附属図書館,富山大学附属図書館)
 7日 附属図書館
 3日 係長事務打合せ会

編 集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 第一共同印制株式会社
 富山市太郎丸1220-2
 電話 (21) 0196